令和８年８月 14 日

加西市議会議長　中右憲利　様

調査研究実施報告書

会 派 名　令和新風加西
代表者名　北 川 克 則

下記のとおり行政視察を実施したので、報告いたします。

記

１．調査年月日
令和８年７月 27 日（月）～29 日（水）

２．調査先
山形県　寒河江市、山形市、天童市、東根市

３．参加者氏名
北川克則、高見博道、中右憲利　※加西市民クラブとの合同視察

４．研究目的及び内容

山形県寒河江市〔寒河江市役所〕（7 月 27 日（月）13：30～15：00）

・農業の担い手育成について（新規就農等支援事業について）

寒河江市議会　柏倉議長
農林課　渡邊課長
農林課農政係　菅野係長
農林課農政係　伊藤主事
議会事務局総務係　青山係長
議会事務局総務係　渡邊主事

山形県山形市〔山形市保健所〕（7 月 28 日（火）10：00～11：30）

・健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）について

健康医療部健康増進課　高嶋課長補佐
健康医療部健康増進課　酒井課長補佐
健康医療部健康増進課　柴崎 SUKSK 推進調整主幹
議会事務局議事課調査係　岩出主査

山形県天童市〔天童市役所〕（7 月 28 日（火）13：30～15：00）

・空き家対策（「我が家」のエンディングノート）について

天童市議会　遠藤議長
建設部都市計画課　佐藤課長
建設部都市計画課　結城技術補佐
建設部都市計画課都市再生係　齋藤主査
議会事務局調査係　武田係長

山形県東根市〔まなびあテラス〕（7 月 29 日（水）9：30～11：00）

・公益文化施設まなびあテラスについて

まなびあテラス　藤田総合館長

教育委員会生涯学習課　岡田課長

教育委員会生涯学習課　奥山係長

議会事務局議事係　鈴木係長

5．所感

各議員の所感は別紙のとおり

6．添付書類

（1） 視察行程表

（2） 写真

（3） 研修資料

山形県寒河江市（令和 8 年 7 月 27 日視察）

【項目】農業の担い手育成について（新規就農等支援事業について）
【目的】農業従事者が減少するなか、農業の担い手確保と育成について調査研究する。
【内容】

基本情報

人口：38,281 人（R7）／面積：139.03 ㎢
農業生産額：約 101 億円（うち 53 億円がさくらんぼ）（R5）
主要生産物：水稲、桜桃（さくらんぼ）、野菜類、西洋梨、ぶどう、桃…
総農家数：30 年で 48%減／農業従事者年齢構成：70 代以上が 61.1%平均年齢 70.1 歳

担い手育成事業

① 新規就農者育成総合対策（国事業）経営開始資金
使途：生活費・営農経費等（使途は問わない）
内容：165 万円×最大 3 年間

② 新規就農者育成総合対策（国事業）経営発展支援事業
使途：機械・施設等の購入・整備
対象費：上限 500 万円
補助率：3/4（最大 375 万円）

③ 新規就農者定住促進支援事業（市単独事業）
使途：住宅賃料
補助率：月額賃料の 1/2（最大 4 万円）＋光熱水費 5,000 円（定額）
期間：最長 5 年間

④ 担い手新規就農支援事業（市単独事業）
使途：機械・施設等の購入・整備
対象費：上限 200 万円
補助率：1/2（最大 100 万円）
対象：認定新規就農者

山形県山形市（令和 8 年 7 月 28 日視察）

【項目】健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）について
【目的】健康ポイントの活用による健康増進の推進を調査研究する。
【内容】

基本情報

二大ビジョン「健康医療先進都市」「文化創造都市」
山形市中心市街地グランドデザインテーマ「歩くほど幸せになるまち」

2019 年中核都市に移行「市保健所」を設置

健康ポイント事業 SUKSK について

・健康医療先進都市のビジョンと政策体系

持続可能な選ばれるまちへ
↑
健康医療先進都市の確立
↑
市民の健康寿命の延伸
↑
生活習慣病の予防
↑
SUKSK 生活の推進
↑
健康ポイント事業 SUKSK の普及

・SUKSK 生活とは？

S（食事）、U（運動）、K（休養）、S（社会参加）、K（禁煙・受動喫煙防止）

・登録者数：3,243 人（R1 スタート）→2 万人突破（R7）

・社会参加を含めた多種多様な活動にポイントを付与

・5,000 ポイントごと 1 口の抽選、記念品が当たる

・1 日 8,000 歩でポイントの上限

・楽しみながら続けられる仕組み（ポイント付与活動）

外食、地域活動、スポーツ試合観戦、グラウンドゴルフ、民間フィットネスジム、低山ハイキング、ポイントアップデー、SUKSK フェア、文化に出会うウォークラリー等

・事業所への健康経営の推進、事業所単位での登録の推進

・専門家やヘルスケア企業との連携

「楽天グループ㈱・㈱NTT ドコモ・エムスリー㈱・科研製薬㈱）等」

・専門家を「SUKSK マイスター」として委嘱、楽しく学べる「SUKSK スクール」開催

・健康無関心層への徹底したプロモーション

「どんなに良い取り組みでも、伝わらなければ意味がない。」

・情報発信（マスメディア・ソーシャルメディア・職員手作りの広報活動等）

・オリジナルグッズ作成で「SUKSK 生活」をブランディング

・健康診断と歩数を AI が分析して健康アドバイス

健康医療都市を目指してきた成果

・平均寿命と健康寿命が男女とも延伸

・平均寿命と健康寿命の差が縮小（日常生活に制限のある不健康な機関が縮小）

・65 歳以上の高齢者数は増加にもかかわらず、要介護 2 以上認定者数は減少

山形県天童市（令和 8 年 7 月 28 日視察）

【項目】空き家対策（「我が家」のエンディングノート）について
【目的】空き家対策の新たな取り組みを調査研究する。
【内容】

市内空き家の状況

・空き家の確認件数：525 件（R8.３）
・空き家の把握方法：
　毎年 10 月の実態調査にて
　　水道事業者、課税担当部署、建築担当部署などが連携
　地域おこし協力隊活動にて
　　協力隊による巡回、空き家相談などによる把握
　　↓
　これらを「空き家台帳システム」へ登録（位置、所有者、状況等）

空き家対策の取り組み

・適正管理の啓発「わが家のエンディングノート」「空き家所有者への啓発活動」
　（建物や空き家の管理を考えるきっかけに）
　※「我が家のエンディングノート」には、自分のこと、土地のこと、家族や家系図、
　　我が家の状態、これからのこと、もしものときの連絡先などを自身で記入する。
　　また、相談するためのフローやどこにどう相談するのかが記載されている。
・所有者への支援「天童市アキカツカウンターの開設」
　（空き家所有者の悩み解決や財政支援で空き家解消の呼び水に）
・不動産市場への流通「空き家バンク」　　（不動産市場の活性化に）

山形県東根市（令和 8 年 7 月 29 日視察）

【項目】公益文化施設まなびあテラスについて
【目的】PFI 方式を活かした整備・運営と公益文化施設の魅力を調査研究する。
【内容】

公益文化施設「まなびあテラス」の概要
・開館：平成 28 年 11 月 3 日（現在 10 年目）
　　来館者数　R8.３月末　2,470,118 人
・施設規模：延床面積 4,401.18 ㎡
・構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 2 階建て
・付帯施設：駐車場 147 台、公園駐車場 10 台、駐輪場 100 台
・整備方法：PFI 方式（民間事業者のノウハウを活用して、設計、建設、維持管理、
　　運営を一括して発注する方式）
・事業期間：平成 26 年 9 月 24 日～令和 18 年 10 月 31 日

・事業費（入札時）：6,554,837,700 円（うち施設整備費相当分 3,452,414,749 円）
・施設機能と特徴
① 図書館（収蔵能力 20 万冊）
ティーンズコーナーの充実、カフェと併設（蓋つき飲み物 OK)、
学習室（40 席)、PC 学習室（10 席）
② 美術館（市民ギャラリー、特別展示室、アトリエ）
絵画や彫刻などのファインアートから、空間芸術やデジタル作品などの
現代アートまで幅広いジャンルに対応
③ 市民活動支援センター（情報ラウンジ、プリント工房、講座室）
芸術団体等の情報発信をサポート
専任のスタッフ配置による相談とサポート体制と構築
④ その他（カフェ、メディア＆アートショップ）
⑤ 都市公園（交流広場、読書広場、芝生広場）
緑豊かな景観、図書館や美術館のイベントなどとも絡めた交流の場
・受賞歴
① 2016 年　照明普及賞（一般社団法人照明学会実施）
② 平成 29 年度　地域づくりのやまがた景観賞（山形経済同友会実施）
③ 平成 31 年度　子供の読書活動優秀実践図書館に対する文部科学大臣賞

以上

〔所感〕　令和新風加西　北川克則

【山形県寒河江市】　農業の担い手育成（新規就農等支援事業）について

寒河江市は、人口・面積ともに加西市と近似値で、農業生産額が約 101 億円のうち 53 億円がさくらんぼである。（R5 年推計値）また、さくらんぼだけではなく水稲も盛んな地域です。総農家数は、30 年で 48%減少し、農業従事者年齢層は、70 代以上が 61.1%と高齢化が進み、加西市と同じく、農業の担い手不足が深刻な問題です。

新規就農者育成対策として、国の事業（経営開始資金・経営発展支援事業）の補助メニューだけでなく、市単独の事業（新規就農者定住促進支援事業・担い手新規就農支援事業）も実施されています。特に機械や施設等の購入整備補助に関しては、国だけでなく、市単独の補助メニューを実施され、安定して活用されているので、ニーズに即していると感心しました。

また、市が支援した認定新規就農者のうち、直近 5 年での離農者は、病気の 1 名だけなので、農業アドバイザーの設置や、新規就農者支援育成協議会による支援や、若手農業者団体「さがえ農人会」の支援など、農業者へのサポート体制の充実が、良く影響したのではと感じました。

加西市も、国の補助メニューだけでなく、ニーズに合った市独自の事業を創設することや、サポート体制を充実させて、寄り添った育成に取り組むべきだと思い、とても良い参考となりました。最後に、市の方々の前向きなマッチングの姿勢に感銘しました。

【山形県山形市】　健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）について

山形市で実施されている健康ポイント事業ＳＵＫＳＫは、二大ビジョンの一つの「健康医療先進都市」の政策体系に組み込まれ、理念や方針がしっかりした事業で、具現化するために全庁的に取り組まれています。山形市中心市街地グランドデザインテーマの「歩くほど幸せになるまち」は、市長や職員の方々の熱い思いを感じました。

健康ポイントの付与は様々で、中でも外食、地域活動、スポーツ試合観戦、民間フィットネスジム、グラウンドゴルフなどは、加西市にも取り入れたいと感じました。また、1 日 8,000 歩をポイントの上限とされ、健康に配慮した設定も参考になりました。

登録の推進に関しては、事業所へアプローチされ、大手ヘルスケア企業との連携や、専門家による「ＳＵＫＳＫマイスター」による「ＳＵＫＳＫスクール」の開催など、民間活力による拡充により、大きく伸ばされています。加西市もまだまだ充実の余地があると思い、参考にさせていただきます。

また、健康診断と歩数をＡＩが分析し健康アドバイスをされていることは、とても先進的な魅力で、加西市にも導入したいです。

最後に、「どんなに良い取り組みでも、伝わらなければ意味はない。」と徹底したプロモーションや職員手作りの広報活動に感銘と同時に、学ばせていただきました。

【山形県天童市】　空き家対策（「わが家」のエンディングノート）について

天童市の空き家対策は、適正管理の啓発として「わが家のエンディングノート」を実施されており、同時に「空き家所有者への啓発活動」も行われています。その他所有者への支援や不動産市場への流通と合わせて、総合的に取り組まれています。

「わが家のエンディングノート」は、終活のエンディングノートと似ていて、相続の時に備えて予め記入することにより、我が家の実情の把握と将来を考える良い機会になります。そして、これ一冊に我が家の情報が集約されていますので、いずれの相談にも使える便利なノートなので、空き家になる前に意義のある素晴らしい事業と感じました。

また、「天童市アキカツカウンターの開設」や「補助制度」により、空き家所有者にとって相談窓口がわかりやすく、空き家になってからのフォロー体制は、加西市も更に充実したほうが良いと感じました。

空き家は個人の資産ですが、早期に把握することで、所有者へ早期に適正管理を啓発することが出来、それにより空き家の解消が進んでいると伺いました。「空き家台帳システム」導入による空き家把握が、早期の対策に繋がっているとのことなので、加西市でも全庁的に情報把握に取り組み、データベース化してはと思いました。

【山形県東根市】　公益文化施設まなびあテラスについて

東根市の「まなびあテラス」は、図書館と美術館と市民活動センターとカフェ＆ショップと都市公園が融合した、複合的な公益文化施設です。ＰＦＩ方式で整備され、現在も委託事業者が民間ノウハウで運営されています。

施設を見学させていただき感じたことは、開放感や明るさと、ティーンズコーナーの充実です。図書館は、子供でも本が取り易いように棚は低く設定され、カウンター表示はひらがなで、優しい感じがします。民間ならではの設計と配慮がされていると感じました。また、蓋のできる飲み物が持ち込め、カフェも併設されているので、自由な空間が演出されていました。40 席の学習室は、青少年のニーズに対応していていると感心します。これらは、加西市の図書館にも、応用や工夫が出来ると思いました。

まなびあテラスの運営に係るボランティアとして、サポーターズクラブがあり、その内訳は、ティーンズ 25 名、大人 58 名が登録されています。図書館の本の揃え、美術館の壁の移動、市民活動センターの実施事業のお手伝いなどをされているとのことですが、いろんなアイデアも提案していただくと伺い、市民ボランティアの魅力を感じました。

市民活動支援センターには、専任のスタッフも配置されていて、市民にとって頼りになるセンターだと思います。また、プリント工房には、Ａ１サイズのプロッターがあり、大判ポスターや横断幕が出力できるので、加西市にも欲しい便利ものだと感じました。

最後に、平日の 9 時過ぎにもかかわらず、多くの方が利用されているのを見て、建築や設計だけでなく、運営の細かな配慮と日々の情報発信の賜物だと思いました。

以上

〔所感〕　令和新風加西　高見博道

【山形県寒河江市】　農業の担い手育成について（新規就農等支援事業について）

山形県では農業が盛んで、その中でも寒河江市は農業生産が101億円、主要農産物は水稲、さくらんぼ、野菜類、西洋梨、ぶどう、桃ですが、53億円をさくらんぼが占める。

そのような農家の担い手育成のための事業展開として、新規就農者育成総合対策（国事業）、新規就農者定住促進支援事業（市独自事業）が行われている。

新規就農者育成総合対策（国事業）では、経営開始資金として生活費営農経費と、経営発展支援事業として機械施設等の購入整備費用を補助している。

新規就農者定住促進支援事業（市独自事業）では、住宅賃料、機械施設等の購入整備費用を補助している。

そのような中で、直近5年間の離農者は病気による１名のみと、定着率が高いことにはとても関心をしました。

加西市でも様々農業支援をしているが、ぶどうやトマトで新規就農者が増えているように水稲に頼らない農業政策が必要であると感じました。

【山形県山形市】　健康ポイント事業SUKSK（スクスク）について

山形市では、二大ビジョンとして「健康医療先進都市」「文化創造都市」を掲げ、「歩くほど幸せになるまち」を目指している。

ビジョンを具体化する全庁的な取り組みとして、冬でも歩ける消雪歩道、冬でも走り回れる児童遊戯施設、居心地が良く歩きたくなる空間、新たな移動手段としてシェアサイクル（ベニちゃん）などを整備されている。

そして、健康医療先進都市の確立に向けて「健康ポイント事業SUKUSK」の普及を目指されている。

加西市でも健康ポイント事業を行っているが、山形市の場合は、歩数8000までの制限があることと、抽選で記念品が当たることになっている。登録数が増えるにつれ、費用増になるところを、このような方法で抑えているようで、参考になりました。

SUKSK生活推進プロジェクトのさらなる進化として、マイナポータルの連携やAIが健康アドバイスを行うなど新たな展開を進めている。加西市の健康ポイント事業もこのような新たな取り組みを進める必要があると感じた。

市長から（特に健康無関心層への）徹底したプロモーションが必要であり、「どんなに良い取組でも伝わらなければ意味がない」、この言葉には大変感銘を受けた。

【山形県天童市】　空き家対策（「我が家」のエンディングノート）について

天童市の空き家の状況は、令和8年3月末現在で東部181件、中心部209件、西部135件、総数525件となる。空き家の状況は、毎年10月に実態調査をされている。

空き家問題の解決は「民間でできる事は民間で、行政にしかできない事は行政で」と言う考えで進められている。

空き家対策の取り組みとして、適正管理の啓発として「我が家のエンディングノート」「空き家所有者への啓発活動」、所有者への支援として「天童市アキカツカウンターの開設」「補助制度」、不動産市場への流通として「空き家バンク」を行っている。

その中で「我が家のエンディングノート」については大変面白い取り組みであると思う。一般的に人生の終活ノートがあるが、自分の住んでいる家についてどのように把握しているか、これはすごく重要である。

家族で不幸があったときに、財産の処分について大変困っておられることが多いが、これを解決するひとつの手段として有効に使えるのではないかと感じた。

また、「天童市アキカツカウンター」を開設して空き家対策を民間に業務委託されていますが、この方法を、加西市でも取り入れては良いのではと感じた。

【山形県東根市】　公益文化施設まなびあテラスについて

東根市では、多少の喧騒を包み込む賑わいのある文化施設として、図書館、美術館、市民活動支援センター、都市公園、その他カフェやメディア&アートショップを備えた「まなびあテラス」をPFI方式（民間事業者のノウハウを活用して、設計、建設、維持管理、運営を一括して発注する方式）により事業展開されている。

その中で、図書館は併設のカフェとつながっており、フタ付きであればコーヒーなどを飲みながら使用できる空間になっている。またティーンズコーナーを設けて、中高生世代への利用促進にも努められている。ワンフロアであるからできるのだとも思うが、加西市でも取り入れることができれば、図書館の使用率が上がるようにも感じた。

美術館については、様々な企画を行い、企画内容によっては有料化して行われている。利用者に喜ばれ、来館意欲を高める展示を展開することを目指しているとの事であった。

加西市に美術館はないが、図書館やいろいろな施設について来館者が増える企画をしていることが加西市にとっても重要ではないかと感じた。

〔所感〕　令和新風加西　中右憲利

【山形県寒河川市】　農業の担い手育成（新規就農等支援事業）について

・山形県は県全体がサクランボの名産地であり、その中でも寒河川市はトップクラスの生産量を誇っている。しかしここ 30 年間で水稲等も含めた農家数は半減し、担い手も 70 代以上が 61％と衰退傾向が顕著になっている。
・そこで寒河川市では市独自事業として、市外から転入した認定新規就農者・農業研修生・雇用就農者に対して住宅賃料の補助、認定新規就農者対象に機械・施設の購入整備に対して補助を行っている。
・このような手厚い農業者への市独自補助に加えて、農業経営アドバイザーによる農業経営、就農計画立案の相談対応なども行っている。
・特に私が感心したのは、「若手農業者団体（さがえ農人会）」という市内若手農業者の活動を市が資金面でもサポートして、新規就農者に関しては仲間づくりの場として機能しているということです。
・そのような様々な支援があって、独立就農者のうち直近 5 年間での離農者は、病気で離農した方が 1 名いるだけということであった。
・独立就農者の多くは市内出身者、U ターン、または親族が寒河江市出身者、認定新規就農者は直近 5 年で 25 名、うち市外からは 7 名。また孫世代が就農するケースも多いということです。
・やはり山形のサクランボは超有名ブランドなので、作業はきついが豊富な販路もあるし、ある程度は儲かるということではないかと思います。
・加西市には山形のサクランボほどのブランド力のあるものはないが、ブドウをはじめトマト、イチゴなども含めて、様々な支援で儲かる農業を実現してほしいと思う。また寒河江市では水稲に関して民間会社を中間に入れるなどの手法を使って大規模化、大区画化をしているということ、加西市でもすでに実施されているのかもしれないが、良い参考になると思いました。

【山形県山形市】　健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）について

・現在の市長が就任してから、「健康医療先進都市」「文化創造都市」を 2 大ビジョンとし、中心市街地グランドデザインテーマとして「歩くほど幸せになるまち」を掲げられている。
・2019 年に中核都市に移行して市保健所を設置、健康政策のシンクタンクとして機能している。
・健康ポイント事業 SUKSK は、現市長肝いりの施策で、全庁的な取組をされている。「居心地がよく歩きたくなる空間」「冬でも歩ける消雪歩道」「シェアサイクル」「冬でも走り回れる児童遊戯施設」など、ビジョンが明確かつ具体的で市民感覚があると思います。
・令和元年度には 3,243 名の登録者だったが、令和 8 年度には 22,000 人を突破。5,000 ポイントごとに 1 口の抽選券が当たるが、今では景品が当たる確率は 20%ぐらいということ。山形市ぐらいの規模になると予算を考えて、豪華景品を維持するためには抽選という形になるのだろう。

・普及には大変力を入れていて、「年間500以上の活動にポイントを付与する」「毎月第3土日は8，000歩以上歩くとポイント5倍」「事業所単位での登録の推進」「専門家を<SUKSKマイスター>として委嘱、楽しく学べる<SUKSK>スクール」を開講されている。
・「健康医療先進都市」をビジョンとして掲げ、SUKSKをどんどん普及させることを常に考え実施しているという印象。その結果、平均寿命と健康寿命が男女とも延伸、又平均寿命と健康寿命との間の期間も縮小。リーダーの強い意志のもと、みんなで頑張って結果を出されていると思いました。素晴らしい。

【山形県天童市】　空き家対策（「わが家」のエンディングノートについて
・空き家対策を行う上での基本的考え方
①空き家は所有者の個人財産　②空き家の活用、処分、管理は原則として所有者の意向と責任により行われる　③市は、空き家所有者への支援、適正管理の啓発を行い、空き家や解体後の土地が不動産市場に流通するよう促す役割を担う　③空き家の解消や新たな空き家の発生の抑制は、民間の商活動により図られる。
・「わが家」のエンディングノートについては、主に持家のこれからの処分、継承等について相談に来られた時に使われる。家族の構成から、もっと大きな家系図、家の構造等の詳細を書き込んでもらって、処分時、継承時に困らないようにするもので、これがあればスムーズに相続が出来、また危険空き家になる前に空き家バンク等に登録して、不動産市場に出せるいい取り組みだと思います。
・所有者の支援については「天童市アキカツカウンター」を開設、運営は「空き家活用株式会社」に委託。相談内容は、空き家の「相続」に関すること、「売買、賃貸借」に関すること、「解体、改修」に関すること。実績としては令和6年2月から令和8年6月までの相談件数84件、やはり空き家などは民間の専門家に任せるのが効果的と思います。
・効果としては「市の窓口で相談を受けるより件数が多くなった」「相談者が具体的な助言、提案を受けられる」「職員の負担が軽減された」ということで、民間委託の空き家相談カウンターが効果的であることが証明されています。

【山形県東根市】　公益文化施設まなびあテラスについて
・「まなびあテラス」は PFI 方式（民間事業者のノウハウを活用して、設計、建設、維持管理、運営を一括して発注する方式）により整備されている。
・事業期間は、平成26年9月24日～令和18年10月31日、事業費（入札時）は6,554,837,700円で、そのうち施設整備費相当額3,452,414,749円は一括支払い、残額は維持管理費として事業期間で分割して支払う。
・「まなびあテラス」は図書館、美術館、市民活動支援センター、都市公園等を含む文化施設であり、その維持管理は指定管理という形で PFI 事業者の中の専門業者が行っている。指定管理

料は年度契約で、令和 8 年度は 158,140,164 円、このほか図書資料調達に係る委託契約が 20,000,000 円、企画展等実施に係る委託契約 20,000,000 円である。

・図書館を見学させていただいたが、本棚が低くて見やすく手に取りやすい、子供向けのスペースの本棚は特に低くしてあり、防犯上も含めてそのようにしているとのことでした。全体的に照明も雰囲気も明るい感じがした。また図書館内では持込み書籍等による自習は禁じられているが、別の場所で児童・生徒・一般の人等が本等を持ち込んで自習する大きな部屋があり、加西市にも自習専用の少し大きめの施設があれば喜ばれると思った。

・図書館には様々な工夫がされており、カフェなどもあってゆっくりとコーヒーを飲むこともできるし、個人の今まで借りた本が一覧でわかるようにもなっていた。

・図書館に関しては他の所も視察したこともあるが、市が直営で運営するよりは、専門業者に指定管理で任せる方が、より魅力的な図書館になっているように思います。

令和新風加西、加西市民クラブ　行政視察　行程表

７月２７日（月）

06：00 発　　加西市役所（自家用車）

08：00 発　　伊丹空港（JAL2233）

09：15 着　　山形空港

【レンタカーで移動】［昼食］

13：30～15：00　　寒河江市視察（TEL：0237-85-1899）

・農業の担い手育成について（新規就農等支援事業について）

【レンタカーで移動】

≪宿泊≫山形駅西口ワシントンホテル

山形市城南町 1-1-1、TEL：023-647-1111

７月２８日（火）

【徒歩で移動】

10：00～11：30　　山形市視察［山形市保健所］（TEL：023-642-8404）

・健康ポイント事業ＳＵＫＳＫ（スクスク）について

【レンタカーで移動】［昼食］

13：30～15：00　　天童市視察（TEL：023-654-1111）

・空き家対策（「わが家」のエンディングノート）について

【レンタカーで移動】

≪宿泊≫ホテルルートイン天童

天童市鎌田 1-13-22、TEL：023-656-9511

７月２９日（水）

【レンタカーで移動】

９：30～11：00　　東根市視察（TEL：0237-43-1175）

・公益文化施設まなびあテラスについて

※現地視察含む

【レンタカーで移動】［昼食］

14：50 発　　山形空港（JAL2236）

16：10 着　　伊丹空港

16：40 発　　伊丹空港駐車場（自家用車）

17：40 着　　加西市役所

調査研究実施報告写真

寒河江市（令和8年7月27日）



寒河江市（令和8年7月27日）



山形市保健所（令和8年7月28日）



山形市保健所（令和8年7月28日）



天童市（令和8年7月28日）



東根市「まなびあテラス」（令和8年7月29日）

